

非正規ワーカー
市民運動の支え役

を県知事へ

市民と野党の共同候補 無所属 共産、社民、新社会推せん

今度の知事選は、格差と貧困の広がりを放置する、県民に冷たい県政を続けるのか、誰もが尊厳を持って生きていける県政へ変えるのか、問われています。

自ら非正規ダブルワーカーとして働きつつ、様々な運動に関わってきた大久保雅子は、県民の声が届き、生きがいの持てる新しい山口県政に変えます。

大久保雅子 6つの思い

1 原発、核ゴミ貯蔵施設つくらせない!

2 最賃^{1500円}で、格差と貧困をなくそう

3 差別・偏見のない山口県に

4 核兵器禁止条約の批准・参加求める

5 小規模高校を残し地域社会を守る

6 平和外交を進め、軍事基地は縮小へ

村岡知事
有近県議

上関原発建設に不可欠の「公有水面埋立免許」の延長を容認

核ゴミ中間貯蔵施設の中止を求める議案に反対

村岡知事
有近県議

最賃引上げは「審議会が決めること」と他人事の対応

中小企業を支援して最低賃金引上げを求める議案に反対

村岡知事
有近県議

県民の理解が得られない、と朝鮮学校への補助金カットを継続

朝鮮学校への補助金復活を求める議案に反対

村岡知事
有近県議

「外交は国の専管事項」と、核兵器禁止条約への参加求めず

国に核兵器禁止条約への参加を求める議案に反対

村岡知事
有近県議

県立高校の統廃合は教育委員会の所管と責任逃れに終始

県立高校への少人数学級導入を求める議案に反対

村岡知事

「外交は国の専管事項」と、米軍基地の機能強化を事実上、容認

比べれば違いがはっきり!



X



web



インスタ

詳しい情報はこちら→

生活応援

3つの緊急プラン

ウラ面に

生活応援 3つの緊急プラン

1 中小業者への手厚い支援で 必要額27億円

賃上げを応援

●時給を60円以上引き上げた中小企業に最大400万円の補助を行ない、計3万人の賃上げを実現します。

2 子育て世帯を応援 必要額16億円

中学生も給食費無償に

●来年4月から公立小学校の給食費が無償化。県が支援して中学校も無償化します。

3 安心して老後が過ごせる山口県に
介護事業所への支援強化

- 経営が悪化している訪問介護事業所へ、県独資の支援制度をつくります
- 国民年金でも入れる特別養護老人ホームの設置を支援します。

財源は各種「基金」
(貯金)が使えます

財政調整基金	224億円
医療介護基金	51億円
介護財政基金	27億円
安心こども基金	11億円
安心・安全基金	80億円
デジタル推進基金	35億円
県民活力基金	37億円
小計	465億円

(2024年度決算時)



県知事にチャレンジ 大久保雅子はこんな人

history

幼い頃から美術家志望

雅子さんは、1964年7月、阿知須町(現山口市)生まれ。幼い頃から絵を描くことが好きで、得意でもあった雅子さんは、高校に通うかたわら、山口市内の画塾に通い、デッサンや油絵を学び、山口芸術短期大学(現山口芸術大学)を卒業。



防府市に本店を置く「エムラ」に就職しましたが、美術家への夢は、あきらめることができず、9年で退社。自分の夢を実現するためにも、手に職をつけようとポリテクセンター(山口市矢原)に入学し、コンピュータを使って設計や製図を行うシステム(CAD)を学び、宇部市の建築設計事務所に就職。2級建築士の資

格も取得しました。

この頃、友人の紹介で大久保努さんと出会い、結婚。設計事務所を退職し、専業主婦に。

その傍ら、現代アートが盛んな台湾の文化財団が募集したコン



ペに応募し、プレゼンテーションした作品が採用されたこともあります。

シネクラブ代表に

以前から入会していた話題のミニシアター系映画を山口市で自主上映する「西京シネクラブ」の事務局を引き継ぎ、2016年から同クラブの代表を務めています。

「社会のウラ側には目が向いていなかった」と言う雅子さんが変わるきっかけになったのは、「映画」でした。

『六ヶ所村ラブソディー』(2006年公開)で、鎌仲ひとみ監督に来山してもらい上映とトークの会を行いました。その縁で、鎌仲監督から『ミツバチの羽音と地球の回転』の公開前の全国初上映会を持ち掛けられ、上映会では鎌仲ひとみ監督の舞台あいさつも行われました。

映画で原発の恐怖を

雅子さんは「映画を通じて、原発の恐怖と国・大企業の横暴、日本では民主主義が機能していない現実気づかされました。その直後に起こったのが東日本大震災と福島原発事故。おかしいことには声を上げなければいけない、と心に刻みました」と振り返ります。

運動に欠かせぬ存在

40代後半には家計のために西

京シネクラブ

運営と同時に、近所のセブンイレブンで働き始め、縁あって山口大学教職員組合の書記にも採用され、非正規ダブルワークの日々が始まりました。同時に、県内の様々な市民運動に積極的にに関わり、欠かせない存在として、多くの人に頼られる存在になりました。



格差と貧困なくす

県知事選への挑戦には、「躊躇もありましたが、知事選への挑戦は、今まで私がやってきたことの延長線上にあるもの。チャンスととらえ力を尽くしたい」と雅子さん。

「非正規ワーカー」雅子さんの挑戦は始まったばかりです。

略歴 ●1964年、阿知須町(現・山口市)生まれ、山口芸術短期大学卒業 ●(株)「エムラ」に勤務、職業訓練学校を経て、建築設計事務所に勤務(設計補助)、2級建築士取得 ●結婚を機に退職、その後、非正規労働者 ●現在、コンビニエンス・ストア店員、山口大学教職員組合パート書記 ●西京シネクラブ代表、原水爆禁止山口県協議会筆頭代表理事、原発をつくらせない山口県民の会事務局長、戦争させない・9条壊すな!総がかり行動山口地区実行委員会事務局長など ●現住所、山口市中尾 ●趣味、映画鑑賞、美術鑑賞、読書 ●同居家族、夫(介護福祉士)、猫1匹(保護猫)

大久保雅子さんに期待します



上関原発を建てさせない祝島島民の会代表
木村 カ



総がかり行動阿武・秋実行委員会共同代表
藤井 郁子



市民連合@やまぐち共同代表
熊野 譲



共産党県委員会委員長
吉田 貞好



社民党県連委員長・元県議
佐々木 明美



新社会党県本部委員長
田中 健次